

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	手話言語学		単位時間数	28 単位時間
担当教員	高嶋 由布子	履修分類	専門科目	科目分類	言語	

【授業概要】 手話言語学について学ぶ。
第二言語としての日本手話の「意識的学習」にも役立つ実践的な内容を中心とする。

【到達目標】 日本手話と日本語の対照分析を通して、二言語間の翻訳に際して理論的な説明ができるようになる。

【授業内容（予定）】

1	手話言語学入門：言語の定義
2	手話音韻論①：手話の音素
3	手話音韻論②：手型の分類
4	手話音韻論③：位置について
5	形態論①：C Lという現象
6	形態論②：語とは何か／非手指要素について
7	文法論①：品詞
8	文法論②：機能語／アスペクト
9	文法論③：形容詞
10	文法論④：動詞の分類
11	意味論①：否定
12	意味論②：発見構文
13	意味論③：使役構文と動詞連続
14	意味論④：目と頭のふるまいの意味

【評価方法】 レポート、発表

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義、発表
国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部 流動研究員、(聴者)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	手話言語学		単位時間数	18 単位時間
担当教員	高嶋 由布子	履修分類	専門科目	科目分類	言語	

【授業概要】

1年次で学んだ手話言語学の知識をもとに、学生自身が感じた日本語との違いについて、発表とディスカッションを行い、二言語間の違いを言語学的に説明することを試みる。

【到達目標】

手話言語学の知識を利用した発表とディスカッションに参加することができる

【授業内容（予定）】

1	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション①
2	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション②
3	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション③
4	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション④
5	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション⑤
6	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション⑥
7	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション⑦
8	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション⑧
9	日本手話と日本語の対照分析：発表とディスカッション⑨

【評価方法】 発表、レポート

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 発表とディスカッション

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部 流動研究員、(聴者)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	聴覚障害者の社会		単位時間数	20 単位時間
担当教員	野口 岳史	履修分類	専門科目	科目分類	社会	

【授業概要】 「ろう文化」のろう文化宣言をもとに、学生自身が要点をまとめ発表する形で進める。
【到達目標】 書記日本語から要約し、日本手話で発表できる。

【授業内容（予定）】	
1	ろう文化宣言、デフ・コミュニティー、口話主義
2	トータル・コミュニケーション、メインストリーミング、人工内耳
3	バイリンガリズム、シムコム、日本手話のできない手話通訳者
4	ろう者と中途失聴者・難聴者、聴覚障害という用語の問題点
5	文化人類学における定義、生活様式、行動様式
6	KL・ELK・DELK
7	医学的視点・文化的視点、Deafhood
8	異文化理解への5つのステップ
9	自文化中心・異文化理解
10	まとめ
【評価方法】 発表、ディスカッション	
【教科書】 ろう文化（現代思想編集分編2000）	
【授業の形式と教員紹介】 講義、発表、ディスカッション。手話通訳学科専任教員。	



令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	聴覚障害者の社会		単位時間数	20 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	専門科目	科目分類	社会	

【授業概要】

聴覚障害者の社会の基本知識を習得する。
学生自身の体験などをもとに発表およびディスカッションを行う。

【到達目標】

聴覚障害者の社会に関して学生自身の異文化体験もふまえた議論に参加できる

【授業内容（予定）】

1	オリエンテーション、自己紹介
2	言語と人と社会
3	手話、第二言語としての手話
4	手話サークル、手話歌（手話ソング）、動画
5	ろう者から手話を学ぶメリット
6	通訳者の音声を聞いてみよう「手話通訳についての基礎知識」
7	通訳者の音声を比較してみよう
8	通訳環境（ろう者からの見やすさ）を考える「ろう者と多様な聴覚障害者」
9	ディスカッション
10	まとめ

【評価方法】 レポート、発表、ディスカッション

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義、発表、ディスカッション。手話通訳学科専任教員。

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	聴覚障害者の社会		単位時間数	20 単位時間
担当教員	各分野ごとの ゲスト講師	履修分類	専門科目	科目分類	社会	

【授業概要】 聴覚障害者の社会のうち、比較的特異な分野について、各分野ごとのゲスト講師を招いて学ぶ
【到達目標】 聴覚障害者の社会のなかでも比較的特異な分野に関する議論に参加できる

【授業内容（予定）】	
1	聴覚障害者の社会（精神障害）
2	聴覚障害者の社会（ろう重複障害）
3	聴覚障害者の社会（盲ろう者）
4	聴覚障害者の社会（ケースワーク）
5	聴覚障害者の社会（司法）
【評価方法】 レポート	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 各分野の専門家	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1-2年生合同 (35期・36期)	授業科目	通訳理論（翻訳理論）		単位時間数	8 単位時間
担当教員	深井裕美子	履修分類	専門科目	科目分類	通訳	

【授業概要】 通訳理論について学ぶ
【到達目標】 通訳理論にもとづいた議論に参加できる

【授業内容（予定）】	
1	通訳とはなにか・翻訳とはなにか
2	通訳・翻訳と「絵」
3	通訳・翻訳に必要な知識
4	通訳・翻訳の目的と準備
【評価方法】 レポート	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 株式会社ネスト代表取締役、日本映像翻訳アカデミー講師、（聴者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	手話通訳論		単位時間数	30 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	専門科目	科目分類	通訳	

【授業概要】

手話通訳技能認定試験学科試験対策
手話通訳のあり方を学ぶ

【到達目標】

手話通訳技能認定試験学科試験「手話通訳のあり方」に合格する

【授業内容（予定）】

1	手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）、手話通訳者全国統一試験、全国手話検定試験等の説明
2	手話通訳のあり方（手話通訳の役割）
3	手話通訳のあり方（手話通訳の役割）
4	手話通訳のあり方（言語・文化・コミュニケーション）
5	手話通訳のあり方（言語・文化・コミュニケーション）
6	手話通訳のあり方（通訳理論）
7	手話通訳のあり方（通訳理論）
8	手話通訳のあり方（手話通訳者の実際）
9	手話通訳のあり方（手話通訳者の実際・手話通訳の業務・派遣コーディネート業務）
10	手話通訳のあり方（手話通訳者としての一般教養）
11	事例検討①（面接場面）
12	事例検討②（会議場面）
13	事例検討③（講演場面）
14	事例検討④（医療場面）
15	事例検討⑤（通訳現場で起こりうる事例）

【評価方法】 レポート

【教科書】『七訂 手話通訳技能認定試験傾向と対策』（中央法規出版）、『手話通訳を学ぶ人の「手話通訳学」入門』（クリエイツかもがわ）、『マンガで読む手話通訳事例集』（新日本プロセス）

【授業の形式と教員紹介】 講義

手話通訳学科専任教員

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	手話通訳論		単位時間数	22 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	専門科目	科目分類	通訳	

【授業概要】

手話通訳技能認定試験対策

模擬通訳や手話通訳実習の準備の仕方を学ぶ

模擬通訳や手話通訳実習における事例検討をとおして手話通訳論を学ぶ

【到達目標】

模擬通訳や手話通訳実習の準備、事例検討、総括ができるようになる

【授業内容（予定）】

1	手話通訳とは・夏期手話通訳実習について
2	夏期手話通訳実習について
3	夏期手話通訳実習について
4	夏期手話通訳実習における事例検討
5	事例検討
6	事例検討
7	事例検討
8	政見放送の手話通訳について
9	事例検討
10	冬期手話通訳実習における事例検討
11	冬期手話通訳実習のまとめ

【評価方法】 レポート

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 想定問題の作成と解答、事例検討

手話通訳学科専任教官

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	手話通訳論		単位時間数	2 単位時間
担当教員	田崎ゆき	履修分類	専門科目	科目分類	通訳	

【授業概要】

手話通訳論の一環で、医師を招いて、さまざまな形態の手話通訳の実情について学ぶ。

【到達目標】

さまざまな形態の手話通訳の実情をふまえた議論に参加できる

【授業内容（予定）】

1	医師として
【評価方法】 レポート	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 オンライン講義 小松川医院 院長	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	手話通訳論		単位時間数	10 単位時間
担当教員	卒業生	履修分類	専門科目	科目分類	通訳	

【授業概要】 手話通訳論の一環で、卒業生をゲストとして招いて、さまざまな形態の手話通訳の実情について学ぶ。	
【到達目標】 さまざまな形態の手話通訳の実情をふまえた議論に参加できる	
【授業内容（予定）】	
1	聴覚障害者情報提供施設職員として
2	社会福祉協議会職員として
3	自治体職員として
4	フリー通訳として
5	民間企業社員として
【評価方法】 レポート	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 さまざまな分野で活躍する卒業生	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	手話通訳論		単位時間数	16 単位時間
担当教員	ろう通訳者	履修分類	専門科目	科目分類	通訳	

【授業概要】 手話通訳論の一環で、ろう通訳者をゲストとして招いて、さまざまな形態の手話通訳の実情について学ぶ。	
【到達目標】 さまざまな形態の手話通訳の実情をふまえた議論に参加できる	
【授業内容（予定）】	
1	ろう通訳とは
2	ろう通訳の実際
3	ろう通訳の実際
4	ろう通訳の実際
5	ろう通訳の実際
6	ろう通訳の実際
7	ろう通訳の実際
8	ろう通訳の実際
【評価方法】 レポート	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 さまざまな分野で活躍するろう通訳者	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	聴覚障害者の教育		単位時間数	20 単位時間
担当教員	加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	知識	

【授業概要】 聴覚障害児の教育に関して、概論から実践まで学び、発表とディスカッションを行う
【到達目標】 聴覚障害児の教育に関する議論に参加できる

【授業内容（予定）】	
1	聴覚障害児の教育（概論）
2	聴覚障害児の教育（概論）
3	聴覚障害児の教育（歴史）
4	聴覚障害児の教育（歴史）
5	聴覚障害児の教育（実践）
6	聴覚障害児の教育（実践）
7	日本における聴覚障害児教育
8	日本における聴覚障害児教育
9	バイリンガル教育（概論）
10	バイリンガル教育（実践）
【評価方法】 発表、ディスカッション	
【教科書】 なし	

【授業の形式と教員紹介】 講義、発表、ディスカッション
手話通訳学科専任教官

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	聴覚障害者のリハビリテーション		単位時間数	14 単位時間
担当教員	成田 あゆみ	履修分類	専門科目	科目分類	知識	

【授業概要】 手話通訳に必要な聴覚障害のリハビリテーションに関する基本的な知識を学ぶ

【到達目標】 手話通訳士試験学科試験の合格

【授業内容（予定）】

1	疑似難聴体験
2	聴覚の意義、難聴の影響
3	聴力検査をしてみよう、耳の構造と聞こえのしくみ
4	難聴の種類と原因
5	補聴器と人工内耳
6	医学の新しい流れ
7	超早期からのリハビリテーション

【評価方法】 レポート

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義 当学院言語聴覚学科専任教官

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	聴覚障害者の福祉		単位時間数	20 単位時間
担当教員	加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	知識	

【授業概要】 イマージョンプログラムのひとつとして実施する
聴覚障害者の福祉に対する理解を深める

【到達目標】 自分で調べたことをまとめ、手話で報告する（ろう者にわかりやすいプレゼンができるようにする）
ろう者にわかりやすいプレゼン資料（パワーポイント等）を作る

【授業内容（予定）】

1	「ろう者のコミュニケーション」 「難聴者のコミュニケーション」 「中途失聴者のコミュニケーション」 「盲ろう者のコミュニケーション」
2	「ろう重複（障害者）のコミュニケーション」 「補聴器の仕組み」 「人工内耳の仕組み」 「ギャローデット大学と筑波技術大学」
3	「新生児聴覚スクリーニング検査」 「身体障害程度等級（聴覚障害にかかわる部分）」 「聴覚障害学生への支援」 「聴覚障害者特別養護老人ホーム」
4	「道路交通法改正（運転免許取得運動）」 「民法改正（第11条）準禁治産者」 「民法改正（第969条）公正証書遺言」 「国連の障害者権利条約」
5	「障害者差別解消法（合理的配慮）」 「電話リレーサービス」 「障害者雇用率制度（法定雇用率と罰則）」 「蛇の寿司事件」
6	「ろう者の参政権 ～選挙権～ 政見放送等」 「ろう者の参政権 ～被選挙権～ 議員としての活動等」 「デフリンピックとパラリンピック」 「障害を理由とする差別条項撤廃（欠格条項の撤廃）」
7	「障害者手帳を有することで受けられるさまざまな福祉サービス」 「3. 3 声明（京都府ろう学校）」 「視聴覚障害者向け放送の普及促進」 「標識、耳の目、手話言語デー」

8	「意思疎通支援事業」 「日常生活用具、補装具、障害者基礎年金」 「手話言語法」 「災害時における福祉支援体制の整備等」
9	復習 上記タイトルのうち1～2タイトル、修正のうえ、再発表
10	復習 上記タイトルのうち1～2タイトル、修正のうえ、再発表
【評価方法】発表、再発表	
【教科書】なし	
【授業の形式と教員紹介】発表とディスカッション 手話通訳学科専任教員	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	聴覚障害者の福祉		単位時間数	8 単位時間
担当教員	全日本ろうあ連盟	履修分類	専門科目	科目分類	知識	

【授業概要】

ろうあ団体から講師を招き、ろうあ運動の過去・現在・未来について学ぶ。

【到達目標】

ろうあ団体の歴史、現状、展望にもとづいた議論に参加できる

【授業内容（予定）】

1	ろうあ団体の歴史と組織
2	ろうあ運動のこれまで①：民法改正、運転免許
3	ろうあ運動のこれまで②：手話通訳制度化、手話言語条例、手話言語法
4	差別問題への対応：手話通訳派遣拒否問題等、東日本大震災から学んだこと、旧優生保護法下の強制不妊手術等問題ほか

【評価方法】 レポート

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義

ろうあ団体からの派遣講師

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	聴覚障害者のソーシャルワーク		単位時間数	12 単位時間
担当教員	原 順子 舘脇 千春	履修分類	専門科目	科目分類	知識	

【授業概要】

聴覚障害者のソーシャルワークについて、その理論と実際を学ぶ。

【到達目標】

聴覚障害者のソーシャルワークに関する議論に参加できる

【授業内容（予定）】

1	聴覚障害ソーシャルワークの枠組み
2	聴覚障害ソーシャルワーカーのコンピテンス
3	ワークショップ：クライアントの理解、自己覚知、面接技法など
4	文化モデルアプローチの重要性
5	聴覚障害ソーシャルワークの実際（日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会）
6	聴覚障害ソーシャルワークの実際（日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会）

【評価方法】 レポート

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義、ワークショップ

四天王寺大学 人文社会学部 人間福祉学科 教授、（聴者）、博士（社会学・関西大学）
日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会会長

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	特別講義		単位時間数	12 単位時間
担当教員	ゲスト	履修分類	専門科目	科目分類	特別講義	

【授業概要】 さまざまな分野で活躍している人をゲストとして招いて、聴覚障害者を取り巻く社会について学ぶ。	
【到達目標】 聴覚障害者を取り巻く社会についての議論に参加できる。	
【授業内容（予定）】	
1	電話リレーサービス
2	デフリンピック
3	LGBTQ+
【評価方法】 レポート	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 さまざまな分野で活躍するろう者及び聴者	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	特別講義		単位時間数	8 単位時間
担当教員	ゲスト	履修分類	専門科目	科目分類	特別講義	

【授業概要】 さまざまな分野で活躍している人をゲストとして招いて、聴覚障害者を取り巻く社会について学ぶ。	
【到達目標】 聴覚障害者を取り巻く社会についての議論に参加できる。	
【授業内容（予定）】	
1	電話リレーサービス
2	デフリンピック
【評価方法】 レポート	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 さまざまな分野で活躍するろう者及び聴者	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	卒業研究		単位時間数	64 単位時間
担当教員	野呂 一	履修分類	専門科目	科目分類	卒業研究	

【授業概要】

手話に関連するテーマについて研究を行う。調査・分析・論文作成・発表のプロセスを学ぶ。

【到達目標】

卒業研究会で発表する。

【授業内容（予定）】

1	オリエンテーション
2	研究とは、課題演習について
3	先行研究について
4	フィールドワークとは
5	課題演習の発表 1
6	課題演習の発表 2
7	卒業研究構想発表会の内容検討 1
8	卒業研究構想発表会の内容検討 2
9	卒研構想発表会 1
10	卒研構想発表会 2
11	研究テーマの確定
12	研究方法の検討、対象データの選定 1
13	研究方法の検討、対象データの選定 2
14	研究方法の検討、対象データの選定 3
15	データの収集 1
16	データの収集 2
17	データの収集 3
18	データの収集 4

19	データの整理 1
20	データの整理 2
21	データの整理 3
22	データの整理 4
23	データの分析・データの追加収集 1
24	データの分析・データの追加収集 2
25	データの分析・仮説の検証及び考察 1
26	データの分析・仮説の検証及び考察 2
27	データの分析・仮説の検証及び考察 3
28	発表資料の作成 1
29	発表資料の作成 2
30	リハーサル
31	卒業研究発表会（内部）
32	卒業研究発表会（外部）
【評価方法】	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 横浜国立大学 元非常勤講師（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	施設見学		単位時間数	30 単位時間
担当教員	江原 こう平 野口 岳史	履修分類	専門科目	科目分類	見学・実習	

【授業概要】

聴覚障害者に関連する施設を見学し、理解したことをまとめて発表する。

【到達目標】

施設の役割を理解し、通訳者としての視点を養う。

【授業内容（予定）】

1	オリエンテーション
2	施設見学 1
3	施設見学 2
4	通訳見学 1
5	通訳見学 2
6	報告会 1
7	報告会 2
8	施設見学 3
9	施設見学 4
10	施設見学 5
11	施設見学 6
12	振り返り
13	整理・まとめ 2
14	報告会 1

15	報告会 2
【評価方法】 発表	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 見学、発表 手話通訳学科専任教員（聴者）、手話通訳学科専任教員（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	施設見学		単位時間数	20 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	専門科目	科目分類	見学・実習	

【授業概要】

手話通訳派遣コーディネート実務を経験する。

【到達目標】

コーディネート業務と担当する者の役割を理解し、通訳者としての視点を養う。

【授業内容（予定）】

1	オリエンテーション
2	コーディネート実務 1
3	コーディネート実務 2
4	コーディネート実務 3
5	コーディネート実務 4
6	コーディネート実務 5
7	コーディネート実務 6
8	コーディネート実務 7
9	コーディネート実務 8
10	コーディネート実務 9

【評価方法】

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 実務
手話通訳学科専任教官（聴者）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	1年生（36期）	授業科目	交流実習		単位時間数	30 単位時間
担当教員	江原 こう平 野口 岳史 加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	見学・実習	

【授業概要】

全国のろう者が集う集会に参加し、大会要員として運営を手伝う。

【到達目標】

ろう者との協働を通して、手話表現力やコミュニケーション能力を高め、相互理解を深める。

【授業内容（予定）】

1	オリエンテーション
2	全国ろう女性集会 1
3	全国ろう女性集会 2
4	全国ろう女性集会 3
5	全国ろう女性集会 4
6	全国ろう女性集会 5
7	全国ろう女性集会 6
8	全国ろう女性集会 7
9	全国ろう女性集会 8
10	振り返り
11	振り返り
12	整理・まとめ 1
13	整理・まとめ 2

14	報告会 1
15	報告会 2
【評価方法】 発表	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 実習、発表 手話通訳学科専任教員（聴者）、手話通訳学科専任教員（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	交流実習		単位時間数	32 単位時間
担当教員	江原 こう平 野口 岳史 加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	見学・実習	

【授業概要】

全国のろう者が集う集会に参加し、大会要員として運営を手伝う。

【到達目標】

ろう者との協働を通して、手話表現力やコミュニケーション能力を高め、相互理解を深める。

【授業内容（予定）】

1	オリエンテーション
2	全国ろうあ者体育大会 1
3	全国ろうあ者体育大会 2
4	全国ろうあ者体育大会 3
5	全国ろうあ者体育大会 4
6	全国ろうあ者体育大会 5
7	全国ろうあ者体育大会 6
8	全国ろうあ者体育大会 7
9	全国ろうあ者体育大会 8
10	全国ろうあ者体育大会 9
11	全国ろうあ者体育大会 1 0
12	整理・まとめ 1
13	整理・まとめ 2

14	報告会 1
15	報告会 2
【評価方法】 発表	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 実習、発表 手話通訳学科専任教員（聴者）、手話通訳学科専任教員（ろう者）	